

オバマも管さんも経済がわからない。となるとオバマ政権が終了する2012年が新たなアメリカと世界景気の回復の時だ。しかしながら、今のままでは日本の企業はこの景気の回復の時に果たして飛躍出来るのだろうか。日本企業の問題は2つある。一つは本社、事業所の「あうん」による生産性の悪さで、もう一つはJapanese Standardに基づいた技術だ。



本社、事業所の生産性は他国に比べて30%は悪い。

Japanese Standardに基づいた技術はコストが2倍

「あうん」という以心伝心が常識の範囲を狭くし、仕事の範囲も狭くしてしまった。製造業の生産性だけしか高くない。

日本の技術がグローバルスタンダードでないため、品質がオーバースペックになってしまい、コストもせきあのマーケットよりも2倍高い。

その原因は本社の業務が非定型業務になっているからで、そうした仕事の仕方は日本だけだ。

日本の企業では日産とかパナソニックのような企業は既にグローバルスタンダードの技術を導入して来ているが、まだ、そうした企業は多くはない。

欧米は仕事の仕方が「ギブアンドテイク」のため、仕事のやり方が業務マニュアル通りに行っている。日本もそうすれば30%は生産性が上がる。